動物解剖実習

実施日	令和元年12月8日(日)　藤島高校
内 容	講 師 ：飯野 哲教授、堀口和秀准教授、堀口里美研究員(福井大学) 内 容 ：実際にラットを解剖し、神経系、骨格系、消化器系などの構造や機能に関する講義および観察を行いました。 解剖を始める前に、解剖を行う際の心構えや生命の尊厳について学びました。 白衣に着替え、まず最初に生きたマウスをみんなで観察しました。 講師の先生のご指導のもと、マウスに注射をして麻酔をかけています。このあとラットを解剖、観察を行いました。 《生徒感想より(抜粋)》 ○ 今日の解剖学実習は、将来への意欲を更に強くするものとなりました。ラットを解剖していくと全然わからない臓器などの器官が多くあり、これら１つ１つが動物の恒常性に大きく関わっていると考えると、とても神秘的で感動しました。もっともっと詳しく勉強したいなと思いました。 ○ 教科書の図とは違い、本物の臓器や筋肉は触ると温かく、今まで生きていたものに刃を通すことに緊張しました。解剖しながら、講師の先生方が臓器の役割や構造を丁寧に説明してくださって、１つ１つの大きさや重さが分かり、生きるということはこの全ての臓器が働き、動くということは神経や筋肉が脳からの指令で動いていることなのだと、本当の意味で感じることができました。